



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 財政学研究 1985, 10

ISSUE DATE:

1985-05-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/155654>

RIGHT:

The Study Papers on Public Finance

財政学研究

第10号 1985年 5月

巻頭言	「財政学方法論争」の回顧	佐藤進
特集	現代行財政の転換と公共性	
	日本資本主義の「構造転換」と「民間活力」	青木圭介
	行政の公共性と民間委託問題	成瀬龍夫
	テクノポリスにみる地域開発行財政の新動向	佐々木雅幸
	公共経済学の最近の動向	西村周三
研究論文	財政組織と公共選択	池上惇
	地域経済研究の企業論的アプローチについて	松岡俊二
研究ノート	フィリップ・スノーデンの年金財政論	武田宏
学会動向	日本財政学会第41回大会	中谷武雄
研究動向	近代日本都市政策研究の現状と課題	川瀬光義
随想	「瑞穂ヶ丘」の日日	島恭彦
書評	穴見明・山崎 怜・鷺見友好・舟場正富・藤岡純一	

財政学研究会

目 次

巻 頭 言	「財政学方法論争」の回顧……………佐 藤 進…	1
特 集	現代行財政の転換と公共性	
	日本資本主義の「構造転換」と「民間活力」……………青 木 圭 介…	4
	行政の公共性と民間委託問題……………成 瀬 龍 夫…	13
	テクノポリスにみる地域開発行財政の新動向……………佐々木 雅 幸…	22
	公共経済学の最近の動向……………西 村 周 三…	35
研 究 論 文	財政組織と公共選択……………池 上 惇…	41
	地域経済研究への企業論的アプローチについて……………松 岡 俊 二…	46
研究ノート	フィリップ・スノーデンの年金財政論……………武 田 宏…	60
学会動向	日本財政学会第41回大会……………中 谷 武 雄…	67
研究動向	近代日本都市政策研究の現状と課題……………川 瀬 光 義…	72
随 想	「瑞穂ヶ丘」の日日……………島 恭 彦…	80
書 評	横田茂『アメリカの行財政改革』……………穴 見 明…	83
	重森暁編『日本財政論』……………山 崎 怜…	88
	坂井昭夫『軍拡経済の構図』……………鷺 見 友 好…	91
	Richard J. Samuels, <i>The Politics of Regional Policy</i> <i>in Japan</i> ……………舟 場 正 富…	96
	牛嶋正『社会的公正と所得課税』……………藤 岡 純 一…	98
若手研究者紹介	……………	102
文 献 抄 録	財政学に関する外国雑誌論文抄録(1984年)……………	104
総 目 次	……………	111

総 目 次

「財政学研究」創刊号（1978年7月）目次

巻頭言	フィナンスについて	島 恭彦
研究論文	インフレーション論と公信用	二宮厚美
特集	J. オコンナー『国家財政の危機』をめぐって	
	財政危機論の視角	
	J. オコンナーの著作によせて	横尾邦夫
	財政危機の一理論	
	J. O'Connor "The Fiscal Crisis of the State"	
	を中心にして	中谷武雄
	オコンナーの資本主義財政分析と「社会資本」研究	加藤一郎
研究動向	財政学の対象と財政史	
	財政学教科書 第三版の巻頭論文をめぐって	池上 惇
	地域・自治体問題研究の一断想	田中重博
書 評	仙田左千夫『イギリス公債制度発達史論』	舟場正富
	国家独占資本主義の新段階	
	池上 惇『国家独占資本主義論争』によせて	森岡孝二
私の研究	戦後日本の石油資源開発投資と政府出資法人の役割りに関する	
	一考案	鈴木 茂
	サムソン・ギデオンの	
	イギリス公債史研究の一齣	仙田左千夫
	研究計画の履歴のことなど	福丸 馨一
	ドイツ留学記	芦田 亘
若手会員研究紹介		
翻 訳	R. ヒルファディング	
	「共和国における社会民主主義の任務」(1)	
	1927年5月 キール党大会における演説	小淵 港 北村裕明
		佐々木雅幸 陶山計介

「財政学研究」第2号（1979年6月）目次

追悼・渡辺敬司会員		
	渡辺敬司君をおもう	島 恭彦
	渡辺敬司さんの死を悼む	宮本 憲一
特集	社会民主主義財政思想の批判的検討	
	— 1920年代を中心にして —	
	財政危機と多面的社会改良構想	清水修二
	ドイツ社会民主主義の行財政改革論をめぐって	小淵 港
	オーストロ・マルクス主義とウィーンの財政改革	佐々木雅幸
	合衆国における社会民主主義と都市財政の改革主体	池上 惇
		仁連孝昭
研究論文	財政危機と国家破産論	池上 惇
	— 国家破産論研究の現代的意義	

	現代的労働力価値の理論についての覚書	神 谷 明
研究動向	日本財政学会第35回大会をめぐって	舟 場 正 富
書 評	W. G. Towler, "Socialism in Local Government"	清 水 修 二
	和田重司「アダム・スミスの政治経済学」	北 村 裕 明
研究ノート	リチャード・プライスの減債基金論	仙 田 左千夫
	資本の過剰蓄積について	淵 上 勇次郎
	大分県における公共事業の特徴と今後の動向	奥 田 宏 司
		児 玉 豊 武
私の研究	ベットタウン日誌	島 恭 彦
	「国の予算」のはしがき	加 藤 一 郎
	ハンガリー留学記	古 河 幹 夫
若手会員研究紹介		
翻 訳	R. ヒルファディング	
	「共和国における社会民主主義の任務」(2)	

~~~~~「財政学研究」第 3 号 (1980年3月) 目次~~~~~

|       |                                    |         |
|-------|------------------------------------|---------|
| 巻 頭 言 | 財政研究のための今日の課題 .....                | 加 藤 睦 夫 |
| 特 集   | 財政危機と国家財産(1)                       |         |
|       | 特集にあたって—最近の研究動向と古典研究— .....        | 池 上 惇   |
|       | 財政危機論における租税国家と公務労働 .....           | 芦 田 亘   |
|       | アダム・スミスの国家破産論 .....                | 中 谷 武 雄 |
|       | 国家破産理論史上におけるトマス・ペイン .....          | 北 村 裕 明 |
|       | 国家破産と財政社会学 .....                   | 佐々木 雅 幸 |
| 研究論文  | 公共選択理論と新社会秩序形成の試み .....            | 林 弥 富   |
|       | 兵器調達過程の一側面 .....                   | 三 浦 一 郎 |
| 研究動向  | 国際財政学会 (I I P F) 第35回大会に出席して ..... | 坂 本 忠 次 |
| 書 評   | 藤田武夫『現代日本地方財政史(上巻)・(中巻)』を読んで ..... | 田 中 重 博 |
| 研究ノート | はじめに警察(学)ありき .....                 | 島 恭 彦   |
|       | ナサニエル・グールドの減債基金論 .....             | 仙 田 左千夫 |
| 文献抄録  | 財政学に関する外国雑誌文献抄録(1978年)             |         |
| 翻 訳   | R. ヒルファディング「共和国における社会民主主義の任務」      |         |
|       | — 1927年5月キール大会における演説 — (3・完)       |         |

~~~~~「財政学研究」第 4 号 (1980年10月) 目次~~~~~

| | | |
|-------|---------------------------|---------|
| 巻 頭 言 | 財政学と政治学 | 武 田 隆 夫 |
| | 大内兵衛先生を偲んで | 島 恭 彦 |
| | — 大内財政学を中心として — | |
| 特 集 | 財政危機と国家破産(2) | |
| | 新自由主義的な国家破産理論の源流 | 芦 田 亘 |
| | — シュンペーターの財政危機論の現代的な再評価 — | |
| | キャピタル・レヴィ論争と国家破産 | 清 水 修 二 |
| | E. ヴァルガの財政危機論 | 小 淵 港 |

総目次

| | | |
|----------|---|-----------|
| 研究論文 | 都市社会資本と費用負担 | 仁 連 孝 昭 |
| | — 大阪市水道事業の歴史から — | |
| | 財政政策と現代景気循環 | 淵 上 勇次郎 |
| | — わが国 1965 年恐慌分析 — | |
| | 合衆国 20 年代における財務長官メロンの減税政策 | 紀 国 正 典 |
| 研究動向 | 現代イギリス経済と地方財政 (1) | 池 上 惇 |
| | — 研究動向を中心として — | |
| 書 評 | 島 恭彦・池上 惇 編『財政民主主義の理論と思想』 | 山 崎 怜 |
| | 宮本憲一 著『都市経済論』 | 舟 場 正 富 |
| | J. Carney, R. Hudson and J. Lewis (eds.),
<i>Regions in Crisis</i> | 青木郁夫・松岡俊二 |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録(1979年) | |
| 若手会員研究紹介 | | |

~~~~~「財政学研究」第 5 号 (1981 年 7 月) 目次~~~~~

| | | |
|----------|------------------------------------|-----------|
| 巻 頭 言 | 歴史研究の難しさ | 藤 田 武 夫 |
| 研究論文 | 査察官制度と社会改良 | 小 沢 修 司 |
| | — 近代的公務労働の形成・統 — | |
| 特 集 | 公共経済学の理論と実践 — 批判的検討 — | |
| | 公共経済学の財政理論 | 池上 惇・二宮厚実 |
| | 社会統合と新自由主義 | 林 弥 富 |
| | J. M. ブキャナンの公債論 | 紀 国 正 典 |
| | Proposition 13 の評価をめぐって | 加 藤 一 郎 |
| | — 「小さな政府」と納税者民主主義の検討のために — | |
| | Proposition 13 と連邦—州行財政関係の変化 | 青 木 郁 夫 |
| | — 連邦歳出入及び連邦補助金を中心に — | |
| 研究動向 | 現代イギリス経済と地方財政(2) | 池 上 惇 |
| | 日本財政学会第 37 回大会をめぐって | 鶴 田 廣 己 |
| 書 評 | 坂井昭夫著『公共経済学批判』 | 関 恒 義 |
| | 伊ヶ崎曉生・三輪定宜著『教育費と教育財政』 | 重 森 曉 |
| 私の研究 | 『財政学概論』のころ | 島 恭 彦 |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録(1979—1980年) | |
| 若手会員研究紹介 | | |

~~~~~「財政学研究」第 6 号 (1982 年 5 月) 目次~~~~~

| | | |
|-------|-----------------------|---------|
| 巻 頭 言 | 予算を見る眼 | 安 藤 良 雄 |
| 特 集 | 日本財政論の課題 | |
| | インタビュー 日本財政論の課題 | 島 恭 彦 |
| | — 私の研究をふりかえって — | |
| | 「実質増税率」試算の一方式 | 横 尾 邦 夫 |
| | 財政危機と財政投融资 | 鈴 木 茂 |
| | 受益者負担の歴史的検討 | 関 野 満 夫 |

| | | |
|------|---|---------|
| 研究論文 | アメリカにおける老齢保険制度の成立 | 井 本 正 人 |
| | 救農土木事業の生成と展開 | 岡 田 知 弘 |
| | — 時局匡救事業と農村開発(1) — | |
| 研究動向 | 国際財政学会のこと | 佐 藤 進 |
| | 日本財政学会第38回大会をめぐって | 小 淵 港 |
| 書 評 | <i>Political Opposition and Local Politics in Japan</i> | 舟 場 正 富 |
| | edited by K. Steiner, E. S. Krauss, S. C. Flanagan | |
| | Princeton U. P., 1981. | |
| | 宮本憲一『現代資本主義と国家』 | 紀 国 正 典 |
| 資 料 | アメリカ南部経済研究の一紹介 | 富 沢 修 身 |
| 追 悼 | 故 土肥秀一 会員 | |
| | 弔 辞 | 宮 本 憲 一 |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録(1980年) | |

~~~~~「財政学研究」第7号(1983年6月) 目次~~~~~

|          |                               |         |
|----------|-------------------------------|---------|
| 巻 頭 言    | 財政学, 地方財政の対象と領域 .....         | 吉 岡 健 次 |
|          | 『島 恭彦著作集』刊行にあたって .....        | 宮 本 憲 一 |
|          | — 私小説風の感慨 —                   |         |
| 特 集      | 日本財政論の課題(2)                   |         |
|          | 社会資本と地域をめぐる論点と戦後日本財政分析        |         |
|          | .....                         | 加 藤 一 郎 |
|          | 税制改革と法人課税のあり方 .....           | 鶴 田 廣 己 |
|          | 保育所財政における「選択と負担」の論理 .....     | 武 田 宏   |
| 研究論文     | 建設国債についての論争 .....             | 張 風 波   |
| 研究動向     | 第39回日本財政学会によせて .....          | 小 野 秀 生 |
|          | ベトナム経済の現状と問題点 .....           | 池 上 惇   |
| 書 評      | 重森 暁 著『地域と労働の経済理論』 .....      | 保 母 武 彦 |
|          | 森岡孝二 著『現代資本主義分析と独占理論』 .....   | 後 藤 康 夫 |
|          | ペーター・タール編者, 芦田 巨・津波古充文訳 ..... | 中 谷 武 雄 |
|          | 『スミス経済学の歴史 — 経済的自由主義の系譜』      |         |
| 翻 訳      | J. ウィルチンスキー                   |         |
|          | 「社会主義財政政策・コントロール」             |         |
| 文献抄録     | 財政学に関する外国雑誌論文抄録(1980~82年)     |         |
| 若手会員研究紹介 |                               |         |

~~~~~「財政学研究」第8号(1983年10月) 目次~~~~~

| | | |
|-------|----------------------------------|---------|
| 巻 頭 言 | 財政学を学んで | 柴 田 徳 衛 |
| | 島 恭彦著『東洋社会論』の位相 | 今 堀 誠 二 |
| 特 集 | G. D. H. Gole の再評価 | |
| | なぜ, いま, G. D. H. Cole なのか? | 池 上 惇 |
| | ウェッブ夫妻とG. D. H. コール | 清 水 修 二 |

総目次

| | | |
|----------|--|---------|
| | コールの協同組合論 | 的 場 信 樹 |
| | — 社会主義への過渡期における協同組合論の課題 — | |
| 研究論文 | ソ連邦における「都市問題」の特質 | 水 田 明 男 |
| | — 社会主義経済システムにおける「都市問題」発生メカニズム — | |
| 研究動向 | 日本財政法学会の設立について | 北 野 弘 久 |
| 随 想 | 「経済学50年」 | 島 恭 彦 |
| 書 評 | Stephen Merrett, <i>State housing in Britain</i> | 藤 原 一 哉 |
| | 馬洪著 張風波訳『中国経済発展の新戦略』 | 張 風 波 |
| | Jean-Paul Brunet, <i>Un demi-siècle d'action municipale à Saint-Denis la Rouge 1890~1939</i> | |
| | 北 島 健 一・西 山 賢 一 | |
| 若手会員研究紹介 | | |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録(1982年) | |
| | 島著作集刊行記念基金(仮称)の発足と運用の基本方針 | |

~~~~~「財政学研究」第9号(1984年7月)目次~~~~~

| | | |
|-------|--|---------|
| 巻 頭 言 | 「官治的自治」を考える | 岩 元 和 秋 |
| 特 集 | 官僚制の現代的諸問題 | |
| | 「革命と官僚機構についての対話」 | 島 恭 彦 |
| | 「情報化」収会における官僚制 | 池 上 惇 |
| | — 官僚制研究の現代的課題 — | |
| | 科学技術と官僚制 | 新 岡 智 |
| | 我国原子力官僚機構の展開過程 | 岡 田 知 弘 |
| | 医療産業の成長と保健医療官僚機構の変化 | 青 木 郁 夫 |
| 研究論文 | 国債発行による経済成長の促進作用とその限界 | 張 風 波 |
| | 日中戦争期における大蔵省預金部(1) | 西 村 貢 |
| | 地域経済の不均等発展について | 八 木 正 |
| 研究ノート | 現代イタリア・リージョナリズムの | |
| | 成立過程に関する覚書 | 松 岡 俊 二 |
| 研究動向 | 日本財政学会第40回大会 | 重 森 暁 |
| | 社会計画化論と《企業の論理》克服の道 | 林 田 博 史 |
| 書 評 | Stephancy Griffith-Johnes <i>The Role of Finance in the Transition to Socialism</i> , London, 1981 | 古 河 幹 夫 |
| | Alan Cawson, <i>Corporatism and Welfare : Social Policy and State Intervention in Britain</i> , 1982 | 武 田 宏 |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録 | |
| | — 1982, 83年 — | |

~~~~~「財政学研究」第10号(1985年5月)目次~~~~~

| | | |
|-------|----------------------|---------|
| 巻 頭 言 | 「財政学方法論争」の回顧 | 佐 藤 進 |
| 特 集 | 現代行財政の転換と公共性 | |
| | 日本資本主義の「構造転換」と「民間協力」 | 青 木 圭 介 |

| | | |
|---------|--|--------|
| | 行政の公共性と民間委託問題 | 成瀬 龍夫 |
| | テクノポリスにみる地域開発行財政の新動向 | 佐々木 雅幸 |
| | 公共経済学の最近の動向 | 西村 周三 |
| 研究論文 | 財政組織と公共選択 | 池上 惇 |
| | 地域経済研究への企業論的アプローチについて | 松岡 俊二 |
| 研究ノート | フィリップ・スノーデンの年金財政論 | 武田 宏 |
| 学会動向 | 日本財政学会第41回大会 | 中谷 武雄 |
| 研究動向 | 近代日本都市政策研究の現状と課題 | 川瀬 光義 |
| 随想 | 「瑞穂ヶ丘」の日日 | 島 恭彦 |
| 書評 | 横田茂『アメリカの行財政改革』 | 穴見 明 |
| | 重森暁編『日本財政論』 | 山崎 怜 |
| | 坂井昭夫『軍拡経済の構図』 | 鷲見 友好 |
| | Richard J. Samuels, <i>The Politics of Regional Policy in Japan</i>
..... | 舟場 正富 |
| | 牛嶋正『社会的公正と所得課税』 | 藤岡 純一 |
| 若手研究者紹介 | | |
| 文献抄録 | 財政学に関する外国雑誌論文抄録（1984年） | |

編 集 後 記

1978年夏に創刊号を世に送り出して以来、ようやく第10号の出版に漕ぎつけました。財政的にはまだまだ苦しい状況ですが、10号発刊の実績を踏まえ、書き手のはばも、じょじょに広がりつつあります。これからも本誌が、財政学研究活性化の一端を担い得る雑誌として、一層内容豊かなものになるよう、編集努力を積み重ねる所存です。

これまで御援助いただきました多くの方々に深く感謝するとともに、今後とも変わらぬ御支援、忌憚のない御批判をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

(S)

財政学研究（スタディ・ペーパー）第10号

1985年5月1日 発行

編集・発行 財政学研究会

編集代表 島 恭彦

事務局 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学部財政学
（池上）研究室

TEL. 075-751-2111 内線3445

印刷 新日本プロセス

The Study Papers on PUBLIC FINANCE

No. 10

May 1985

CONTENTS

| | |
|--|--|
| Foreword | Issues about How to approach the System of Public Finance
<i>Susumu Sato</i> ... 1 |
| Changes of the Public Administration and Public Good | |
| | The Structural Transformation of Capitalism in Japan and
Vitalities in Private Sector <i>Keisuke Aoki</i> ... 4 |
| | Public Good and Charging of Public Services
<i>Tatsuo Naruse</i> ... 13 |
| | New Trends of Regional Development Policy <i>Masayuki Sasaki</i> ... 22 |
| | Recent Trends of Public Economics <i>Shuzo Nishimura</i> ... 35 |
| Treatise | Fiscal Systems and Public Choice <i>Jun Ikegami</i> ... 41 |
| | What does the Multiplant Firm mean for the Regional
Studies? <i>Shunji Matsuoka</i> ... 46 |
| Note | On the Old Age Pensions Theory of the Philip Snowden
<i>Hiroshi Takeda</i> ... 60 |
| Trends | The 41 Conferance of the Japanese Association of
Fiscal Science <i>Takeo Nakatani</i> ... 67 |
| | The Present Situation and Tasks of the Study on Urban
Policies in Japan before W.W.II <i>Mitsuyoshi Kawase</i> ... 72 |
| Essay | Those Days at "Mizuho-ga-oka" <i>Yasuhiko Shima</i> ... 80 |
| Book Review | Shigeru Yokota, <i>The Reform of the Public Administration
in U.S.A.</i> <i>Akira Anami</i> ... 83 |
| | Akira Shigemori (ed.), <i>Japanese Public Finance</i> <i>Rei Yamazaki</i> ... 88 |
| | Akio Sakai, <i>Military Expansion and Economy</i> <i>Tomoyoshi Sumi</i> ... 91 |
| | Richard J. Samuels, <i>The Politics of Regional Policy in Japan</i>
<i>Masatomi Funaba</i> ... 96 |
| | Tadashi Ushijima, <i>Social Justice and Income Taxation</i>
<i>Jun'ichi Fujioka</i> ... 98 |
| Abstracts | Articles on Public Finance published in Foreign Periodicals,
1984 |

Edited by
ZAISEIGAKU-KENKYUKAI
(Kyoto, Japan)